

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2024年度 春学期・夏学期開講

# 科学技術政策特論

第1回講義

## 「科学技術政策の見方」 ～社会情勢から見る科学技術政策～

北海道大学大学院工学研究院工学系教育研究センター 准教授

齊藤 大地 氏

本講義で扱う「科学技術政策」は、その時代の社会情勢を踏まえながら、方向性が決定されるものです。「科学技術政策」という言葉が出来てから50年強しか経っていませんが、時代によってその定義が変化してきており、昨今では、イノベーション政策とセットで語られるようになっております。

「科学技術政策」を構成する個別の施策・事業については、様々な資料から内容を確認することは可能です。また、それらを観察することで、現在の「科学技術政策」の中で注目されている要素や、将来の「科学技術政策」の方向性が見えてきます。

「科学技術政策」を作っているのは、政治家や役人だけではありません。皆さまを含めて、多くのステークホルダの方々からの意見を伺いながら、また議論・調整しながら政策として決まってくるものです。本講義は、全16回のオムニバス講義の初回として、「科学技術政策の見方」を紹介します。自身の研究分野との関連性など様々な取っ掛かりから、「科学技術政策」に関心を持つきっかけになれば幸いです。

日時：4月12日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法：

オープンホールによる対面授業

履修を希望する者はガイダンス動画を視聴してください。



齊藤 大地先生

神奈川県出身。横浜国立大学工学部卒業、同大学大学院修了(工学修士)。

平成16年文部科学省省入省。福島第一原子力発電所の事故以降、主に放射線モニタリングや放射線リスクコミュニケーション、原子力規制業務に従事されてきたほか、最近では、産学官連携施策や地域科学技術振興施策を通じた地域課題解決や大学改革の支援業務等に従事。

文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域振興課拠点形成・地域振興室室長補佐を経て、令和5年8月より現職(社会・地域創発本部副本部長も兼務)。

担当：工学系教育研究センター 小崎 完教授